

おしよせる街、消えていく湿地

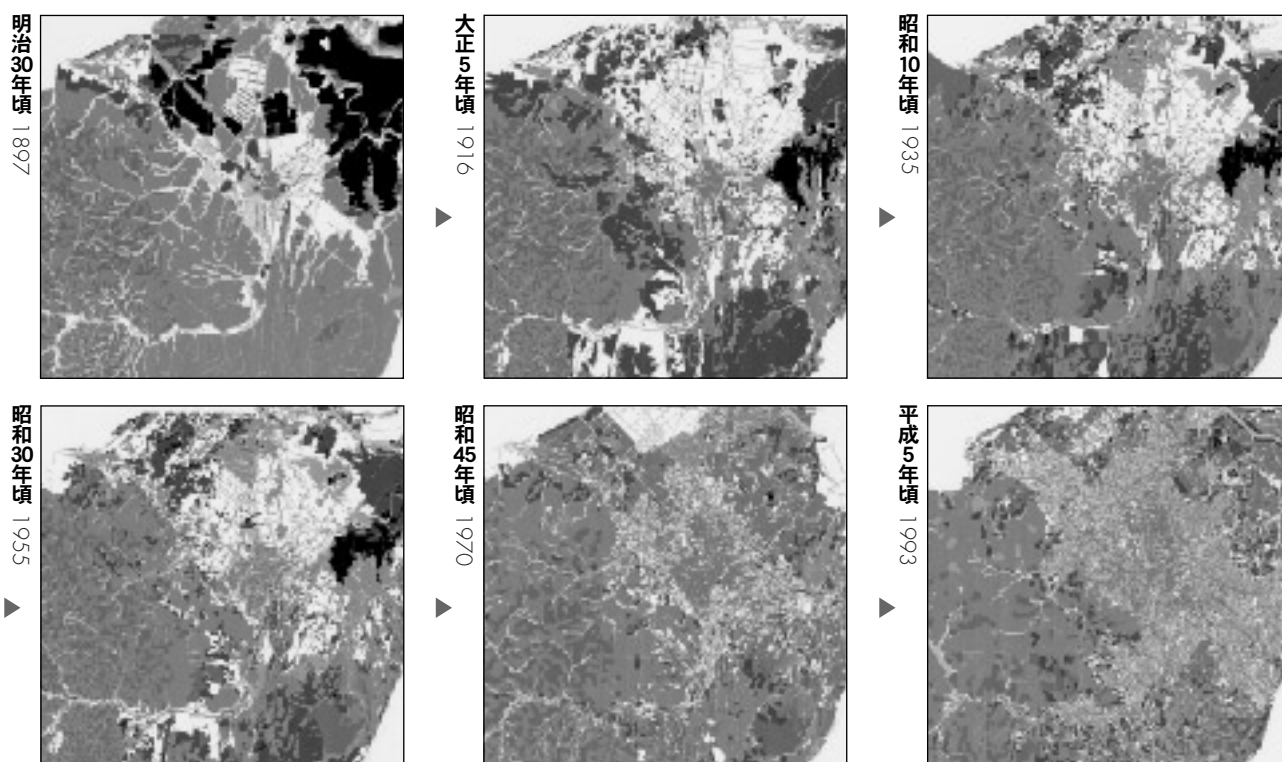
既に今年も本州では台風などで水害が起っています。札幌では今年は今のところ大きな水害は起きていません。

しかし、明治時代、初めて札幌に入った人々は何度も洪水と戦わなくてはなりませんでした。というのも、豊平川が増水すると現在の苗穂より下流では川があふれだし、菊水付近から厚別地区は毎年のように洪水になっていたからです。また、今は細々と東区を流れる伏籠川、石狩市との境界をなされる発寒川は、石狩川より低い土地を流れているため、石狩川の水が逆流して洪水が起きていました。川の水が逆流するほどの出来事は、今の快適な都市生活からはとても想像できません。

昔の地図から年代ごとに土地利用の情報を読み

とった下図を見てください。明治初期には現在の大谷地～篠路付近は湿地だったのがわかります。その後、湿地は少しずつ水田や宅地に変わり、特に昭和30年から昭和45年にかけて急激に消えているのがわかります。

川は洪水を防ぐために堤防ができたり岸をコンクリートで補強したりと、自然な形ではなく矯正グプスをはめられた状態になりました。そのおかげで、人にとっては住みやすくなりましたが、その一方で湿地や自然の川辺とともに市街地から離れていった、あるいは消えていった動植物がいることも確かです。札幌の“原風景”を探る動植物調査が今年も続きます。(山崎)



【図作成：札幌市博物館活動センター】 ■ は湿地を示す

春～初夏の行事報告

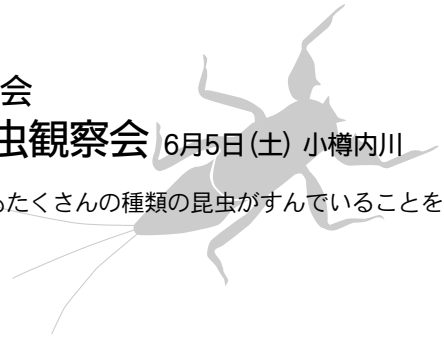
体験学習会 タンポポを知りつくそう！ ～春の植物観察会 5月22日(土)

セイヨウタンポポの花の数を数えたり、葉っぱの形でタイプ分けしたり、同じセイヨウタンポポの中でも数や形にいろいろであることがわかりました。よく目にしているタンポポが外来種だということを知っている方はかなり多いようですね。



体験学習会 水生昆虫観察会 6月5日(土) 小樽内川

川の中にもたくさんの種類の昆虫がすんでいることを実感しました。



大型動物化石総合調査 地史見学会 さっぽろ産カイギュウ化石 発掘現場をめぐる 7月4日(土) 南区豊平川流域

見慣れた景色にもそれぞれの生い立ちがあります。海の時代の札幌や、はげしい火山活動の様子などを観察しながら学習しました。



▲化石採取の様子

さっぽろ水草採物帖

⑥ ウキクサを知っていますか？

「水草の観察と研究」という本におもしろい話がのっています。全国にいる親戚や友人に「ウキクサ」を採集して送ってくれと頼んだら、シダ植物やコケ植物といったいろいろな「浮き草」が送られてきたというのです。

この本の著者は植物学的な種として「ウキクサ」ただ1種を送って欲しかったのですが、頼まれたほうは「うきくさ」という日本語の発音だけでイメージする「浮き草」→水に浮いている植物(緑のもの)、と思ったのでしょうか。むしろ、こちらの受け取り方のほうが一般的なのかもしれませんが。昨年の「水草の浮いてる生活」展でもウキクサという名前をもつ植物があることに驚いているお客さんがいました。まさに、「浮き草の中のウキクサ」、ウキクサは根もあれば花も咲く被子植物の1種です。コケ植物やシダ植物、藻類ではありません。植物体の大きさは1cmになりませんが、こんな小さな体で大きな沼、川にも生息すると聞けば、大海に挑む小船のような頼もしさすら感じます。しかも、葉(葉状体)の下にのびている根でバランスをとり、表面は水をはじくうえ、裏面は水面にピッタリ密着し、ひっくり返りにくくなっています。

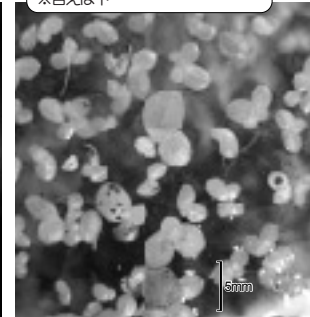
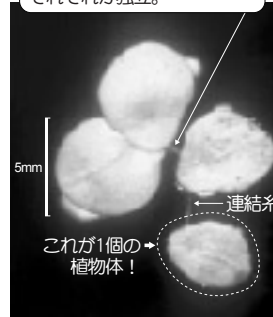
博物館で行っている水草調査の中から、札幌市内周辺地域で見られる植物を毎号1種紹介します。

形はとてもシンプルですが、実は水に浮く水草の粋を集めたつくりをしているのです。もう、これであなたは「ウキクサのような人生・・・」と胸を張って言えるでしょう？！(山崎)

【参考文献】「水草の観察と研究」大滝末男 著

はじめはつながっているが、ある程度数が増えると切れてそれぞれが独立。

この中にウキクサは何個体ある？ ※答えは下



ウキクサ

【産地:札幌市東区モエ沼】

水に浮いているのは、葉と茎が変化したもので、「葉状体」と呼ばれます。

【産地:江別市角山豊平川河口付近】

まんまるに近くて、大きいのがウキクサ。楕円形はアオウキクサ属で、ウキクサとは別のグループになります。

※答え:12個体

(撮影:山崎 真実)

第2回自然探求サポート事業 今年の研究テーマは？

応募のあった4件のなかから、選考検討会の結果下記3件が選ばれました。
7月中旬から野外調査開始予定。



化石分野

テーマ「札幌の化石からどんなことがわかるのか？」

川田 隼輔／石井 卓也(手稲区・小学6年)

■サポート研究者：古沢 仁(札幌市博物館活動センター学芸員)

環境分野

テーマ「札幌のホテルはどこにすんでいるの？」

矢野 愛佳(清田区・小学5年)

■サポート研究者：齋藤 和範(北海道立旭川高等看護学院非常勤講師)

地質分野

テーマ「川原の石はどんな石？」

佐藤 万紗子(中央区・小学3年)

■サポート研究者：藤田 郁男

(環境学習フォーラム北海道代表、科学技術振興財団サイエンスレンジャー)

豊平川に眠る人魚～カイギュウ化石～

② 海牛が“人魚”になった理由

海牛は“人魚”と呼ばれた動物です。生きている姿は日本でも見ることができます(ジュゴン:三重県鳥羽水族館、マナティー:沖縄県沖縄美ら海水族館)。ご覧になった方は、人魚のイメージとほど遠く、「えっ！…これが？」といった反応だったかもしれません。しかし、誰が何と言おうと海牛は人魚と呼ばれた動物です。でも、なぜ海牛は人魚とよばれたのでしょうか？それは、海牛の特徴やその行動にあると私は考えています。

ジュゴンとマナティーの違いは、ジュゴンの体色が乳白色で海底の水草を食べているのに対し、マナティーは体色が黒っぽく、水中あるいは水面に浮かんでいる水草を食べていることです。マナティーが円い頭を水面につきだし、水面に浮いている水草を食べている様子を想像してください。後ろから(あくまでも、後ろから)見ると、長い黒髪の女性が水面から周りの様子をうかがっているように見えませんか？



ジュゴン
札幌の海牛化石はジュゴンに近い仲間です。
(撮影:古沢 仁 鳥羽水族館にて)

また、船上から見る水中のジュゴンは、色白の女性が泳ぐ姿に見えたかもしれません。

ところで、みなさんは映画『トロイ』を見ましたか？あの映画の中で、ブラッド・ピット演ずるアキレスが唯一尊敬する英雄がオデッセウスです。ホメロスの記述によると、オデッセウスはトロイの闘いの後、船で妻や子の待つ故郷へ帰ります。その旅の途中で出会うのが後に人魚のモデルとなった「セイレーン」です。セイレーンは人間の過去と未来を支配する“もののけ”で、その言葉に耳を傾けると深い海の底へ引き込まれてしまいます。人の過去と未来を知ることができるなんて魅力的ですが、それを安易に聞き出そうとすると道を誤るぞという深い教えがその中に隠されているのです。生き物たちの過去を調べ、未来を予測する古生物学者にとっても身につまされるお話です。やはり、化石の研究は地道にコツコツやらなくてははいけませんね。(古沢)



マナティー
(写真出典 D.K. Odell 『MANATEES AND DUGONGS』)

講座・体験学習会・企画展のお知らせ

① 野外実践講座(2) 海を読む 漂着物から環境を読む

日時 9月12日(日) 午前9時～午後3時 **会場** 石狩浜 ※札幌市博物館活動センターに集合
対象 小学4年生～大人 (小学生は保護者同伴) **費用** 無料 **定員** 20名 (多数時抽選)
講師 志賀 健司 (いしかり砂丘の風資料館学芸員)

② 大型動物化石総合調査 地史見学会 さっぽろ産カイギュウ化石発掘現場をめぐる

日時 10月10日(日) 午前9時～午後3時 **会場** 札幌市南区豊平川流域 ※札幌市博物館活動センターに集合
対象 小学4年生～大人 (小学生は保護者同伴) **費用** 無料 **定員** 40名 (多数時抽選)
講師 古沢 仁 (札幌市博物館活動センター学芸員)

③ 体験学習会 秋色のしおりをつくろう！～秋の植物観察会

日時 10月16日(日) 午前9時～12時 **会場** 大通公園 (予定)
対象 小学生～大人 (小学生は保護者同伴) **費用** 無料 **定員** 20名 (多数時抽選)
講師 山崎 真実 (札幌市博物館活動センター学芸員)

【申し込み方法】

参加する行事名・住所・参加する方全員の氏名・年齢・電話番号・FAX番号を明記し、①9月3日(金)、②9月30日(木)、③10月7日(木)(必着)までに博物館活動センターへハガキまたはファクス、Eメール museum@city.sapporo.jp にて申込。ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/museum/> 行事案内のページからも申し込みできます。いずれも多数時抽選。

第13回 iミュージアム企画展

都心直結! みどりの宝島

～天然記念物 藻岩山・円山の植物～

開催期間：平成16年8月3日(火)～8月31日(火)

主催：札幌市博物館活動センター

会場：iミュージアムギャラリー(博物館活動センター5階)

市役所ロビーでも展示します。10月4日(月)～8日(金)

第14回 iミュージアム企画展

サーモンプロジェクト

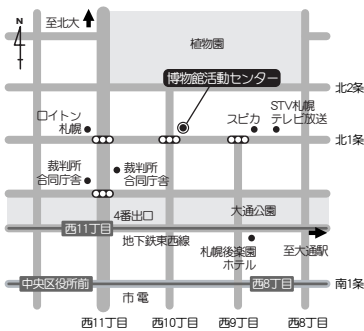
～小さな命を見つめて～

開催期間：平成16年9月4日(土)～9月26日(日)

主催：東白石小学校のみなさん

協力：札幌市豊平川さけ科学館

会場：iミュージアムギャラリー(博物館活動センター5階)



札幌市博物館活動センターご利用案内

【開館時間】 10:00～17:00 **【入館料】** 無料
【休館日】 日・月曜日、祝日(土曜日と祝日が重なる場合は開館) ※9月26日は開館
● STVホールスピカの西隣、旧市立病院の建物がリンケージプラザです。
● 駐車場はありません。近くの有料駐車場におとめください。
〈地下鉄〉東西線西11丁目駅4番出口から徒歩5分
〈市電〉西8丁目または中央区役所前電停下車徒歩8分
〈バス〉北1条西7丁目バス停降車徒歩3分

編集後記

来館者数 **28,767** 人 (2004年6月末現在)

19号1ページ目で紹介したボタンについて、「タンポポモドキはボタンとは別種」という情報に「驚いた、混乱した、なぜ? 違いを教えてください」という声が寄せられました。私も手元の図鑑にタンポポモドキの詳しい情報がなく、先日やっと「世界の雑草」という本を見ることができました。これによると、タンポポモドキはタンポポモドキ属で、がく(総苞片)に毛がない点がボタン(エゾコウゾリナ属、がくに毛がある。)との見わけポイントとなります。これで私もスッキリしました。(ま)

